

科目名	□技術者倫理		
担当教員	藤本 孝		
対象学年	3年	クラス	[127]
講義室	8211教室	開講学期	前期
曜日・時限	水3	単位区分	選択
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
A講義概要/Class Outline	<p>さまざまな事例の分析をととして技術者倫理の必要性を学ぶ。討論を交えて学生主体の講義運営を行う。</p> <p>(達成目標) 学生自らが技術者倫理の必要性を複数の事例を挙げて具体的に説明できるようにする 授業時間:22.5時間</p>		
B講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	技術者倫理の視点 チャレンジャー号事故の分析	
	2	倫理と法 技術者の倫理規定について学ぶ	
	3	技術者倫理とコミュニケーション シティコブタワーの事例分析	
	4	倫理学の三理論について学ぶ フォードピント事件の事例分析	
	5	企業倫理のケーススタディ(1) グループで討議、発表資料の作成	
	6	企業倫理のケーススタディ(2) プレゼン	
	7	エンジニアリングデザイン(1) グループで討議、発表資料の作成	
	8	エンジニアリングデザイン(2) プレゼン	
	9	倫理的問題の解決策(1) 事実的問題、概念的問題、線引き問題	
	10	倫理的問題の解決策(2) ハインシのジレンマを扱う	
	11	内部告発 ギルベインゴールドの事例分析	
	12	内部告発のケーススタディ(1) グループで討議、発表資料の作成	
	13	内部告発のケーススタディ(2) プレゼン	
	14	地球的視野を持つ技術者の倫理	
15	まとめ 技術者倫理の必要性の再確認		
C到達目標/Class Goal	09TM～11TM B 社会の中で技術者の役割と責任を理解する 05TM～08TM (B)機械技術者として社会に負っている責任に関する理解力を身につける		

D準備学習の内容(事前・事後学習)	討論に参加できるように、課題に対して事前調査を行うこと
E評価基準GradingCriteria	評点(100点満点)のうち60点以上を合格とし、60点～69点を可(C)、70点～79点を良(B)、80点～89点を優(A)、90点～100点を秀(S)とする。ただし、03TM以前の受講者については80点～100点を優(A)とする。
F評価方法/Grading Method	レポート(30%)、プレゼンテーションと討論(30)、期末テスト(40)
G受講上の注意/Class Rules	学生主体の講義運営を行うので積極的な発言が求められる。
H受講制限/Prerequisite	なし
I関連する科目RelatedClass	現代の社会、科学・技術史、地球環境
J教科書/Text	著者名 藤本温 編著
	著書名 技術者倫理の世界
	出版社名 森北出版
	ISBNコード ISBN4-627-97301-2
K指定図書/Assigned Books	著者名
	著書名 なし
	出版社名
	ISBNコード
L参考文献/Bibliography	著者名 齊藤了文・坂下浩司 編
	著書名 はじめての工学倫理第2版
	出版社名 昭和堂
	ISBNコード ISBN978-4-8122-0507-5

